

相模湾産ハコエビについて

池田 等・村岡 健作・倉持 卓司

Hitoshi Ikeda, Kensaku Muraoka and Takashi Kuramochi:
On *Linuparus trigonus* (von Siebold, 1824) (Crustacea, Decapoda,
Palinuridae) from Sagami Bay, Central Japan

はじめに

イセエビ科・ハコエビ属の現生種は、千葉県・島根県以南、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、オーストラリア北部・東部に分布するハコエビ *Linuparus trigonus* (von Siebold, 1824)、南西諸島、台湾、香港、オーストラリア東部・西部、ニュージーランドに分布するオキナハコエビ *L. sordidus* Bruce, 1965 および東アフリカ、マラッカ海峡に分布する *L. somniosus* Berry & George, 1972 の3種が知られる (Holthuis, 1991; 三宅, 1991; Ng, 1992 など)。このうち日本周辺海域にはハコエビとオキナハコエビの2種類が分布し (駒井ほか, 2005)、相模湾からはハコエビのみが記録されている (三宅, 1991)。

ハコエビは体長 40 cm を超える大型種で、日本では底曳網や底刺網などによって漁獲され、食用にされる。本種は相模湾においてはかつて比較的好く見られたが、近年急速に激減し、現在では稀となった。

筆者らは相模湾におけるハコエビの採集記録や情報をもとに、分布状況および過去より現在に至る生息状況等について調査したので報告する。

本調査にご協力いただいた神奈川県真鶴町在住の大久保久美子氏および採集にご協力いただいた神奈川県小田原市江之浦在住の小崎忠衛氏、ならびにハコエビに関する情報をいただいた日本甲殻類学会会員で静岡県沼津市在住の飯塚榮一氏に感謝申し上げます。

採集されたハコエビの記録

甲殻綱 Class Crustacea
十脚目 Order Decapoda
抱卵亜目 Suborder Pleocyemata
イセエビ科 Family Palinuridae Latreille, 1802
ハコエビ属 Genus *Linuparus* White, 1847

ハコエビ *Linuparus trigonus* (von Siebold, 1824)

大型で、生時の甲背面中央は紅色、両縁部は黄白色。頭胸甲は長方形。眼上棘は、左右が中央で接合し、短く幅広い額角を形成する。胃域正中線上に棘があり、前2つの棘は、胃域正中線上にあり、最後部の棘は胃域正中線を挟み対になる。頸溝前方の側縁に3歯がある。頸部後部の正中陵上に8個の粒状突起が列生する。第2触角は甲長のおよそ2倍に達し、鞭部は固く扁平になる。第2-5腹節側甲の下縁は前後に幅が広く、前後端に各1歯。後縁に2歯がある。腹部各節に1条の横溝があり、第1-3節では連続するが、第4節以降では横溝は甲背にある側稜によって中断される。

検討試料

(1) 標本番号: HSM-Crm-0089 (HSM-Crm: 葉山しおさい博物館甲殻類標本番号)

体長: 262.0 mm 甲幅: 53.1 mm 甲長: 108.9 mm (雄)

採集地: 神奈川県横須賀市秋谷沖

採集日: 1980年代に採集

採集者 池田 等

(2) 標本番号: HSM-Crm-0088

体長: 282.0 mm 甲幅: 52.4 mm 甲長: 114.5 mm (雌)

採集地: 神奈川県三浦郡葉山町沖 水深 75 m

採集日: 1990年3月31日

採集者 池田 等

(3) 標本番号: HSM-Crm-0090 (図1)

体長: 294.0 mm 甲幅: 59.9 mm 甲長: 114.7 mm (雌)

採集地: 神奈川県小田原市江之浦沖 水深 75 m (ヒラメ刺網)

採集日：2007年4月1日
採集者 村岡健作

(4) 大久保久美子氏所蔵

体長：304 mm 甲幅：69 mm 甲長：130 mm (雄)
採集地：神奈川県足柄下郡真鶴町沖
採集日：2006年2月20日
採集者 大久保久美子

過去から現在に至るハコエビの記録

筆者のひとり池田は1965年から現在まで相模湾の海洋生物調査を行っており、ハコエビに関する情報を得ている。その結果1960年代には葉山で行われていた打た瀬網漁でよく漁獲された(池田, 1997)。1970年前半までは秋谷～葉山沖の海域で漁業者が行うヒラメ底刺網船に乗船した都度、2～3個体が得られた。同年頃、横須賀市の長井魚市場には冬～春にかけて一日に5～10匹の水揚げがあったことを確認している。また、1970年代には江ノ島から茅ヶ崎の沖合いで行われていたヒラメ底刺網漁によって多く漁獲され、中には体長40 cmに達

する大型の個体も得られた。同海域では相模湾の他の海域にくらべ大型化する。1970年後半以降の採集量は激減し、現在は稀となった。

また筆者のひとり倉持は1990年より横須賀市佐島沖周辺のハコエビの水揚げ状況を調査し、1990年前半までは、年間1～2匹程度の水揚げを確認したが、1995年以降の記録はなかった。

なお、最近の相模湾での記録としては、真鶴沖から2002年に2個体が、2005～2006年に本報告の個体を含めそれぞれ年1個体が(大久保久美子氏, 私信)、さらに、筆者のひとり村岡は、2007年に小田原市江之浦沖から底刺網によって得られた1個体(本報告)を入手している。

結果および考察

相模湾から採集されたハコエビの採集記録と過去の情報をもとに相模湾内におけるハコエビの分布を示す(図2)。相模湾におけるハコエビの分布の中心は秋谷～葉山～江ノ島～茅ヶ崎の水深50-120 mの海域で、底質は砂泥である。同所にはヨコスジヤドカリ *Dardanus arrosor*

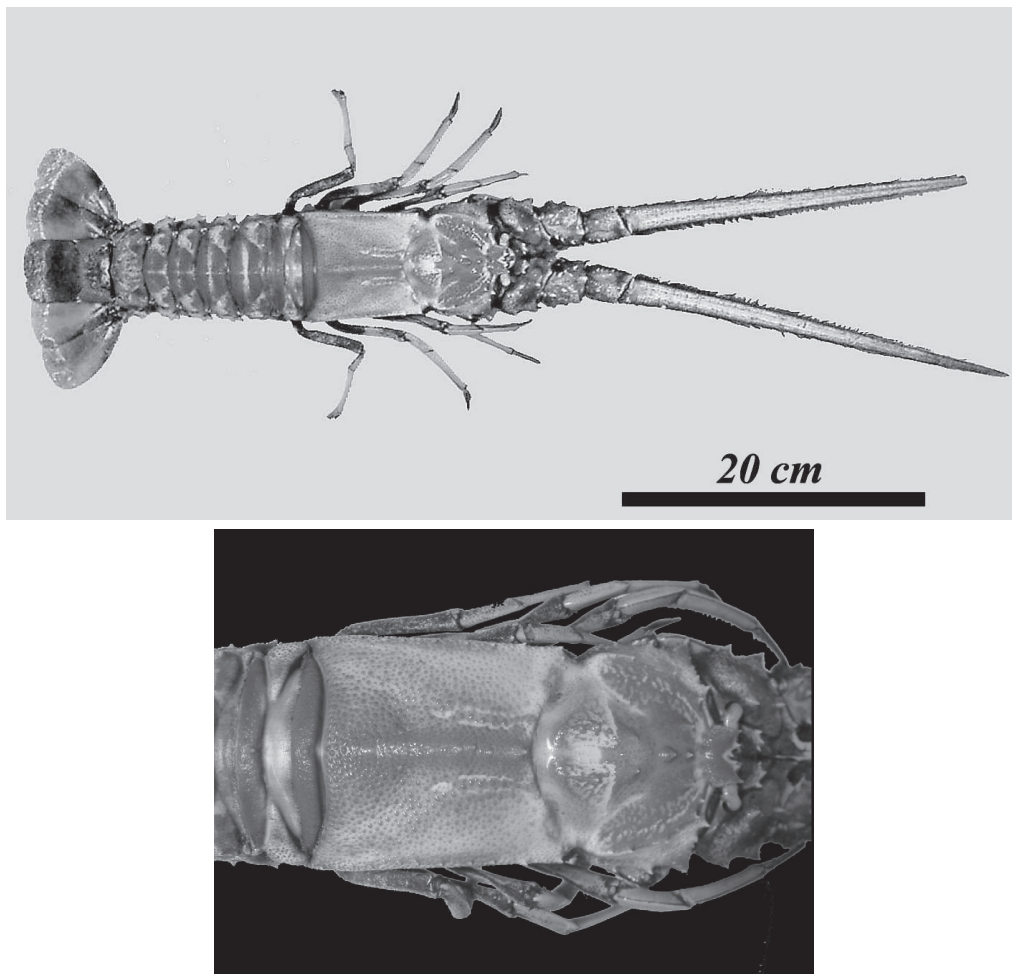


図1. ハコエビ *Linuparus trigonus* (von Siebold, 1824)
標本番号：HSM-Crm-0090. 体長：294.0 mm 甲幅：59.9 mm 甲長：114.7 mm
産地：小田原市江之浦沖 水深 75 m

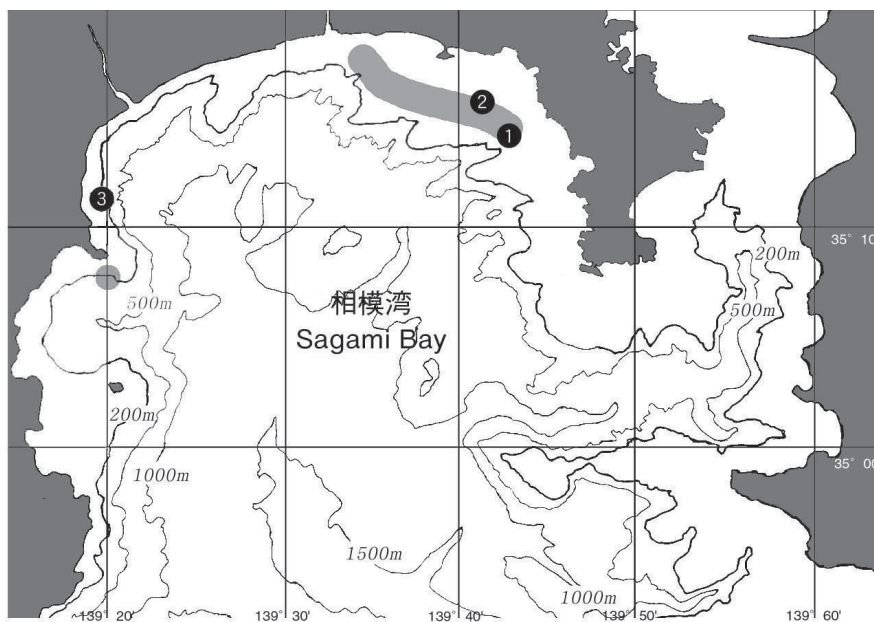


図 2. 相模湾におけるハコエビ *Linuparus trigonus* (von Siebold, 1824) の分布
 本報告において用いた検討試料の採集地点：①：HSM-Crm-0089；②：HSM-Crm-0088；
 ③：HSM-rm-0090；■ ハコエビの分布の中心海域

(Herbst, 1796), フタホシシガニ *Charybdis bimaculata* (Miers, 1886), アカイシガニ *Charybdis miles* De Haan, 1835, エンコウガニ *Carcinoplax longimana* (De Haan, 1833) などの甲殻類, キヌガサガイ *Stellaria (Onustus) exutus* (Reeve, 1842), ウネウラシマ *Semicassis japonica* (Reeve, 1848), スジウズラ *Tonna olearium* (Linnaeus, 1758), ボウシュウボラ (トウカイボラ型) *Charonia lampas sauliae* (Reeve, 1844) var., セコボラ *Siphonalia modificata* (Reeve, 1946), アラレナガニシ *Granulifusus niponicus* (E. A. Smith, 1979), モモエボラ *Cancellaria (Momoebora) sinensis* Reeve, 1856 などの軟体動物の分布が確認された。

調査の結果, 相模湾のハコエビは 1970 年代前半まではよく得られたが 1970 年後半から激減し, 1990 年以降から激減の一途をたどった。その原因はハコエビの生息地の環境の変化よりも漁業による過度の採捕圧によるものが大きいと考えられる。駿河湾の沼津周辺海域においても 1970 年代にはヒラメ刺網で, よく混獲されたが, 近年, 採集される個体数は激減している (飯塚榮一氏, 私信)。

なお, これまで相模湾において本種の体長 100 mm 以下の個体が採集された例はない。また, 過去には葉山海

岸に生きた個体が複数打ちあがった事例もあり (池田, 未発表), ハコエビの生活史は十分に研究されていない。ハコエビは近い将来, 相模湾から消滅する可能性が考えられ, その生態を早急に把握する必要がある。

引用文献

- Holthuis, L. B., 1991. Marine lobsters of the world. An annotated and illustrated catalogue of species of interest to fisheries known to data. FAO species catalogue, FAO Fisheries synopsis. 13, 292pp.
- 池田 等, 1997. 懐かしい手繰. 潮騒だより, (8): 2-5.
- 駒井智幸・金子篤史・佐藤圭一, 2005. オキナハコエビ (新称) の日本からの初記録. 沖縄生物学会誌, 43: 15-20.
- 三宅貞祥, 1991. 原色日本大型甲殻類図鑑 (1) (第 2 刷). 261pp. 保育社, 大阪.
- Ng, P. K. L., 1992. New records of the spear lobsters *Linuparus somniosus* Berry & George, 1972, and *L. trigonus* (von Siebold, 1824) (Crustacea: Decapoda: Palinuridae) from the straits of Malacca and Vietnam respectively. Raffles Bulletin of the Zoology, 40(2): 179-185.

(池田:葉山しおさい博物館, 村岡:神奈川県立生命の星・地球博物館, 倉持:横須賀市芦名 2-6-3-504)

